

# あまがさき 市議会だより

Vol.128

令和2年(2020年)5月1日

発行:尼崎市議会  
編集:尼崎市議会だより編集委員会  
〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号  
☎06-6489-6112(議事課) ☎06-6489-6105  
✉ ama-gkaidayori@city.amagasaki.hyogo.jp

市議会の情報はホームページで  
ご覧いただけます。

尼崎市議会

検索



満開のナノハナ(農業公園にて)



## 第16回定例会

# 令和2年度当初予算案を可決

第16回定例会は、2月21日から3月24日までの33日間の日程で開催されました。2月26日・27日及び28日に開会された常任委員会では、令和元年度補正予算等について審査を行い、公設地方卸売市場業務条例の一部改正を除き、3月4日の本会議で採決を行いました。3月6日からは予算特別委員会を設置し、当初予算等について分科会及び総括質疑(全体会議)による審査を行った後、3月24日の本会議において当初予算案等はいずれも原案可決となりました。(各議案の採決結果は7・8面に掲載)

## 目次

■代表質疑	2・3
■予算特別委員会(分科会審査)	4・5
■災害時連絡会議を設置	5
■決算特別委員会意見に対する回答	6
■採決結果一覧表	7・8
■議員研修会を開催	8
■議会の動き	8
■編集後記	8
■次回定例会の予定	8



# 代表質疑

3月6日、各会派の代表者6人が令和2年度当初予算案などに関して代表質疑を行いました。主な質疑と答弁の要旨は、次のとおりです。

## 当初予算審議の主な流れ

- ① 代表質疑
- ② 予算特別委員会 (分科会)
- ③ 予算特別委員会 (総括質疑)
- ④ 予算特別委員会 (各会派意見表明・採決)
- ⑤ 本会議 (採決)

### 公明党

眞田 泰秀



### 「あまがさきのまちづくり」の考え方について

**問** あまがさき「未来へつなぐ」プロジェクト後半に向けての「あまがさきのまちづくり」の考え方はどのようなものか。

**市長** 計画年限である令和4年度に向け、「訪れたい」、「住んでみたい」、「住み続けたい」まちな向けた取組をさらに推進していくとともに、「住んでよかったまち」に向けた取組についても強化していきたいと考えている。令和2年度は、こうした考えの下、学力向上対策や待機児童対策に引き続き取り組むとともに、介護予防の取組なども進め、生きがいづくりや健康寿命の延伸を図っていく。こうした取組を通じ、プロジェクトに掲げる都市の体質転換を図り、持続可能な行財政盤を確立することで「ありたいまち」

の実現を目指していく。

### ■その他の主な質疑

○新型コロナウイルス感染症の影響による、この困難な状況を乗り切っていくため、市長として、感染症対策本部長として、市民に対するメッセージは。

○教育の柱である、未来社会を生きる力を育てるとは、どのような教育になるのか。また、そこに込められた市長の思いは。

○「気候非常事態宣言」を表明する意思はないのか。

### あまがさき 志誠の会 波多 正文



### 現在の財政状況について

**問** 将来負担の見通しや基金の状況等を含めて、現在の財政状況をどのように認識しているのか。

**市長** 実質的な収支均衡を確保した予算編成ができるよう

になってきたが、今後も収支不足の発生が見込まれ、構造改善に取り組むことが重要である。また、本市の財政運営上の大きな課題が、類似都市と比べて著しく高い水準にある将来負担の縮減である。当初予算においても、投資事業の調整と財源対策として発行した市債の早期償還を可能な限り進めることで令和4年度の目標管理対象将来負担を1100億円までに抑えるという財政目標を達成できる見込みであるが、今後必要な投資事業が控えていることから計画的・戦略的に基金の積立て・活用を行い、必要な政策投資と財政規律の両立を図っていく。

### ■その他の主な質疑

○市長が理想とするまちに本市はどれだけ近づいたか。まちづくりのどこに力不足を感じているか。また令和5年度からの次期総合計画について、何か考えはあるのか。

○市営住宅の建替等基本計画を見直し、若年層が定住しやすくなる総合的な住宅施策を進めることで、都市の体質転換を行うべきではないか。

○学力調査の結果を活用した学力向上に向けて、本市独自の取組の強化が必要ではないか。

### 維新の会

安浪 順一



### ホテル誘致について

**問** 臨海部に大規模な宿泊施設の建設をするべきだと思いが見解はどうか。

**市長** 東海岸町などの南部臨海地域については、工業専用地域であり、既に周辺には事業所が立地操業していることから、用途変更を行うことは難しいと考えている。一方、カジノを含むIR誘致については本市への影響もあることから、その動向や県の動向を注視していく。

### ■その他の主な質疑

○地域代表者の無理解によって、正当な野良猫対策活動が阻害されている事例は把握しているのか。また、野

良猫不妊手術助成金交付要綱第7条及び第6条を改正  
 ・改善する考えはあるのか。  
 ○市内の分娩取扱施設が減少することにより、市内で出産したくても出産できないことについての見解は。  
 ○犯罪抑止のため「尼崎サイクルパトロール隊」を作っているかどうか。

**日本共産党  
議員団**

川崎 敏美



**学校でのいじめ対策  
について**

**問** いじめは人権侵害であるという認識を持ち、問題が発生した時点でどのように対応をするのかという点でも、徹底すべきではないか。

**教育長** いじめは個人の人格を傷つけ、将来の成長にも深刻な影響を与える著しい人権侵害であると捉えており、全ての学校において、いじめ防止基本方針を作成し、事案発生時の対応をフロー図で示す

等、速やかな対応を組織的に行うとともに、被害者の心情に寄り添った対応となるよう指導している。学校現場がいじめの感度向上に向けた各種取組をさらに強化し、仮に問題が発生した際には、被害者に寄り添った対応ができるよう、常に緊張感を持って、きめ細やかな指導・支援を行っていきたくて考えている。

**■その他の主な質疑**

- 認可外保育施設が早期に基準を達成するよう市の指導強化が必要であり、また、保育料の便乗値上げが行われないよう市の監督が必要だと思いが見解は。
- 公共施設の量的な削減目標の見直しの検討をする考えはあるのか。
- グループホームを利用する障害者が、土日祝日などに自宅へ帰ると自宅からの移動支援が認められず、家族に負担がかかるため、西宮市と同様に認めることを求めるが見解は。



**市民グリーン  
クラブ**

綿瀬 和人



**未来の尼崎について**

**問** 目標管理対象将来負担の目標達成が見えてきた中、未来の尼崎はどのようなまちになるのか。

**市長** 引き続き厳しい財政運営が予想されることから、改めて財政再建の途上であることを認識し、気を引き締めたければならないと考えている。総合計画における「ありたいまち」の実現に向け、「ファミリー世帯の定住・転入を促進するとともに、単に尼崎で暮らす人を増やすだけではなく、このまちに誇りや愛着を感じ、市民、「まちのことを想い、活動する人」を増やすことに資する取組を進め、一歩ずつ着実に歩みを進めていきたいと考えている。

**■その他の主な質疑**  
 ○非正規雇用の現状認識と非

正規雇用を正規雇用へ転換するための取組について。  
 ○学力向上対策についての現状と分析・検証が必要ではないか。また、学力向上対策については、解決したと考えているのか。  
 ○公共施設の建て替え計画を進める上で、危機管理安全局と他局との連携は必須と考えるかどうか。

**緑の  
かけはし**

都築 徳昭



**体罰アンケート調査  
について**

**問** これまで体罰をある意味容認してきたことに対する自己批判なしに、体罰の根絶はできないと考えるかどうか。また、体罰アンケートで体罰を認めた教員にどのような方針で臨むのか。

**教育長** 体罰が根絶できなかった責任は、教育委員会にもあると思っている。その反省を踏まえ、学校に対する向き

合い方を改めて見直し、指摘すべき点は指摘し、学校が困ったときは、最大限の支援をしていく必要があると考えている。また、体罰を行った教員に対する懲戒処分については、重ければよいというものではなく、今回のアンケートで自ら体罰を行ったことを認め、反省が認められる教員については、懲戒処分の量定に当たり、一定の軽減が考えられ、必要な配慮をしていきたい。

**■その他の主な質疑**

- 気候変動問題を取り巻く状況の変化に対応するため、尼崎市地球温暖化対策推進計画で掲げる令和12年度の削減目標の見直しと令和32年における削減目標の設定が必要ではないか。
- 公共工事の設計労務単価の引上げの影響と保育士・介護従事者の処遇改善手当による賃金の変動や勤続年数の推移が分かる事業所単位のアンケート調査はできないのか。
- プラーク所見のある肺がん患者者について、補償や実態把握につなげるため、石綿健康相談窓口を案内するよう医療機関に対して働きかけはできないのか。



## 予算特別委員会

### 令和2年度当初予算及び同予算関連議案等を審査

本市議会では、令和2年度当初予算と同予算関連議案等の計19案件を集中的に審査するため、全議員を委員とする予算特別委員会を設置し、委員長に安田雄策委員が選任されました。

審査に当たっては、常任委員会と委員や所管事項が同じ5つの分科会を設置し、各所管部局に関して審査を行うとともに、当初予算案及び当初予算関連議案等についての論点整理を行うため、分科員間による協議を行いました。続いて、各会派が総括質疑を行った後、意見表明を行いました。その後の採決の結果、一般会計予算案などの19案件が原案のとおり可決されました。

### 分科会審査

3月9・10日の2日間にわたり行った各分科会の審査において、次の事項が重要な論点として全会一致でまとめられ、各論点において、分科員からそれぞれ意見がありました。

#### 総務分科会

**論点** 持続可能な行財政基盤の確立とPDCAサイクルの取組強化について。

**論点** 地域力を支える体制づくりと地域予算の効果的な活用について。

**意見** 地域予算を自治のまちづくりの理解を深める取組に活用し、市民と最終目標の共有を行った上で効果・結果を明確に検証し、具現化すること。

地域予算を地域主体・地域主導で活用していくこと。

**論点** 公共施設マネジメント計画の周知と着実な推進について。

**意見** 丁寧な説明・周知を行うこと。

周知率の上昇を図り、市民から理解を得た根拠を明確にする

すること。

将来負担の抑制を図ること。  
住民理解・住民合意を図りながら進めること。

**論点** 市と外郭団体等や指定管理者との関係の在り方について。

**意見** 外郭団体等への補助基準を明確にすること。

外郭団体等とのパートナーとしての関係性を明確にすること。

指定管理者に対して対等な関係性を認めるとともに、管理監督すべきことは行うこと。

#### 文教分科会

**論点** 学校現場と教育委員会との連携によるいじめ・体罰等の根絶に向けた具体的な取組及び事案発生後の迅速な対応について。

**意見** 教員の資質向上を図ること。

教育委員会と学校のガバナンスを再構築すること。

体罰防止に向けた職員研修に取り組むこと。

当事者以外の意見を聞く環境を整備すること。

事案発生時にいじめの被害者を迅速に保護すること。

学校の中で保護者を交えた意見交換を行うこと。

事案への対処に当たっては教育委員会がリーダーシップを発揮すること。

**論点** 市域全体での不登校対策の充実と不登校児童・生徒の居場所づくりについて。

**意見** 市域南部に教室支援室を整備すること。

児童・生徒が力を伸ばすことができる居場所をつくること。

**論点** 東京オリンピック・パラリンピックに関連した教育活動への取組について。

**意見** 子供が将来オリンピックを回想できる機会をつくる

こと。

グローバルな経験ができる場を子供に提供すること。

**論点** 学力向上に向けた総合的な取組の推進について。

**意見** あまっ子ステップ・アップ調査を踏まえた授業を行うこと。

家庭・放課後学習の実施を徹底すること。

外国語教育に取り組むこと。

#### 健康福祉分科会

**論点** 新型コロナウイルス感染症への対応について。

**意見** 市民の不安を解消するために迅速な対応を行うこと。

必要があれば緊急の財政措置を行うこと。

**論点** 避難行動要支援者名簿の活用及び支援体制の構築について。

**意見** 協働の視点での体制構築が重要であること。

名簿を精査する必要があること。

**論点** 児童ホーム・保育所の待機児童対策及び保育士確保のための施策の充実について。

**意見** 待機児童ゼロを確実に達成すること。

**論点** 保育施設における事故防止の観点からも保育士の処遇改善を行うこと。

に向けた取組について。  
**意見** 超音波検査による乳がん検診への助成が受診率向上につながる。  
**論点** フレイルチェックの促進による介護予防の推進と健康寿命の延伸について。



待機児童対策において、保育施設の新設や定員拡大を図ることとされています。

□ 経済環境企業分科会

**論点** 地球温暖化対策の更なる推進について。  
**意見** 気候非常事態宣言や内水対策について検討すること。  
**論点** 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた市内事

業者への支援について。  
**意見** 零細事業者等に寄り添う形での支援を行うこと。全庁的な取組みを行うための仕組みが必要であること。  
**論点** 市内事業者の稼ぐ力の強化に向けた産業振興施策の充実について。

**論点** 尼崎城を核とした観光施策の充実及び観光資源の活用を図るための観光戦略の推進について。  
**意見** 観光資源の活用の方角性を明確にすること。  
**論点** 外部専門家を活用すること。公設地方卸売市場の今



尼崎城は、観光施設の充実及び観光資源活用の核となる施設とされています。

後の在り方について。  
**意見** 投資額が大きいことから慎重に検討する必要があること。

**論点** 雨水貯留管整備事業における課題を踏まえた市民合意形成プロセスの実施について。

**意見** 総合治水対策についての更なる研究を行うこと。熟度の低い段階から丁寧な説明を行うこと。

□ 建設消防防災分科会

**論点** 新型コロナウイルス等の新たな感染症に対応する危機管理体制の構築について。

**論点** 災害被害の低減に向けた予防対策の推進について。

**意見** ハザードマップにおいて想定している被害を踏まえた予防対策が必要であること。高齢者等へ災害時に必要な情報を確実に届ける仕組みやライフラインの管理者との協力体制の強化が必要であること。

**論点** 空き家活用及び老朽危険空き家等の除却の促進について。

**意見** 既存住宅の流通の促進や老朽危険空き家等の除却につながる制度設計が必要であること。

新型コロナウイルス感染症対策のため「尼崎市議会災害時連絡会議」を設置

本市では、2月27日付で「尼崎市新型コロナウイルス感染症対策本部」が設置されました。市議会においても、大規模災害時は、議員自身はもちろんのこと市民の生命の安全を最優先に、その災害の規模、種類、事態の推移等に応じ、迅速かつ的確に行動することが求められることから、尼崎市議会大規模災害対応行動マニュアルに基づき「尼崎市議会災害時連絡会議（以下、連絡会議）」を3月3日に設置しました。災害の状況に応じ、必要な体制をとりながら、当局が災害対応に全力で専念し、応急活動が円滑、迅速に実施できるよう必要な支援・協力を行っております。

連絡会議については、4月1日現在で計4回開催しており、3月3日に開催した第1回及び第2回連絡会議では、当初2日間で予定していた代表質疑を1日に短縮すること等が確認されました。また、3月11日に開催した第3回及び第4回連絡会議では、総括質疑時の傍聴希望者については、別室のテレビ中継での視聴をお願いすること等が確認されました。

連絡会議については、市議会として新型コロナウイルス感染症対策について対応の検討等が必要な場合は、今後も随時開催する予定です。



## 決算特別委員会意見に対する回答

令和元年9月の決算特別委員会における令和2年度予算への提言に対する市長からの回答は、次のとおりです。なお、議会からの提言については、要約してありますので、詳しくは、議会日より第126号（令和元年12月1日発行）をご覧ください。

### ◆令和2年度予算への提言内容

#### 【いじめ防止等のための取組・体罰根絶に向けた取組】

##### 提言 学校現場におけるいじめ、体罰の課題解決に向けて、教育委員会と学校現場が一体となって、学校のマネジ

メント機能の強化・学校運営の透明化・教員の資質向上に向けた組織的な取組を推進すべきである。

で、児童の情報モラルの向上及びネットいじめの防止を図る。

○いじめや体罰等の問題を匿名で報告することができるアプリ「STOPit」の対象を、市立高等学校の生徒にも拡げ、問題の速やかな解決に取り組む。

○教員の資質向上に向けては、新たに外部機関への委託により、教職員を対象とする体罰防止やコンプライアンスに関する研修を実施する。

○体罰根絶有識者会議における議論を踏まえた具体的な改革を推進する。

また、これらの教育行政の取組に加え、子どもの権利擁護という幅広い視点で、次に掲げる対策を講じ、重層的かつ効果的に子どもの安全・安心な環境の確保を図る。

○市立小学校にはSNS等に専門知識のある支援員を派遣し、出前授業を行うこと

人権侵害に関するアンケート調査を実施する。

○アンケートの調査結果及び対応状況を公表するとともに、いじめや体罰等が生じた背景や課題を分析し、その根絶に向けた取組等を進めていく。

#### 【保育事業・放課後児童対策（児童ホーム）】

##### 提言 待機児童の解消に向けて、保育所・児童ホームの

定員拡大及び保育所での保育士確保のための取組を、スピリット感を持って進めることが必要であり、とりわけ保育士の処遇改善など保育士確保につながる新たな発想での効果的な取組を推進すべきである。

○保育所等の待機児童は、これまでから様々な対策を講じているものの、未だ解消に至らない状況にあることから、早期解消に向けて、次に掲げる取組を新たに進めることで、更なる保育施設の定員拡大や保育士確保を図っていく。

○保育施設等の定員拡大に向け、待機児童の多いエリアでの保育所等の新設、また、既存の法人保育園の定員拡大を伴う建替え等の費用を補助する。

○更なる保育士の確保を推進

するため、これまでの処遇改善を図る補助制度等に加えて、次の取組を進める。

・法人保育施設等に就職した際の一時金の支給対象を、保育士の資格を有するも保育業務から離れている潜在保育士にも拡げる。

・潜在保育士の就労の不安を解消するため、保育業務の実践的研修を実施する。

・保育士就職フェアでは、保育業務への関心を高めるワークショップの開催や現地見学の促進等により、更なる充実を図る。

児童ホームの待機児童解消に向けては、これまでの公立施設の定員拡大や、民間児童ホーム（民間事業者が実施する放課後児童健全育成事業）の設置補助等の利用促進策に加え、次に掲げる新たな取組を進める。

○児童数の増加が顕著であり、喫緊に定員増が必要な園田南小学校において定員を拡大する。

○民間児童ホームの利用促進を図るため、現行の賃借料補助金を拡充し、利用定員数の増を図る。

#### 【方針1…圧縮と再編】

##### 提言 公共施設マネジメントの取組を進めるに当たっては、市民等の理解促進に向けた取組を強化すべきである。

○公共施設マネジメントの取組やその必要性などについて分かりやすく解説したパンフレットを全戸配布する。

##### 回答 公共施設マネジメントの取組については、その意義・目的について、市民等の理解が深まるよう、きめ細かく意見を伺いながら進めていく必要があることから、次に掲げる取組を進め、引き続き丁寧な対応に努めていく。

○施設の特性を踏まえながら、従来型の市民説明会ではなく、タウンミーティング※を積極的に実施する。

※令和元年度には、（仮称）健康ふれあい体育館の整備にあたってのタウンミーティング形式の説明会を実施し、全ての参加者から意見を聴取できたことに加え、市職員や参加者が活発な議論を行うことにより、多様な意見を共有することができた。



## 採決結果一覧表（第16回定例会）

区 分			結果	公	志	維	議	日	ク	か	無	付託委員会
				明	誠	新	員	本	市	緑	所	
				党	の	の	共	共	民	け	属	
				(12)	(8)	(7)	(6)	(4)	(4)	(4)	(1)	
報告	報告 第1号	専決処分（訴えの提起（報酬請求控訴事件））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
条例	議案 第20号	市民提案事業審査会条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	総務
	〃 第21号	特定非営利活動促進基金条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第22号	人権文化いきづくまちづくり条例	〃	○	○	○	×	○	○	○	○	〃
	〃 第23号	市立生涯学習プラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第24号	職員定数条例の一部改正	〃	○	○	○	×	○	○	○	○	〃
	〃 第25号	手数料条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	〃 第26号	印鑑条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	総務
	〃 第27号	職員の給与に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	文教
	〃 第28号	教育職員の給与等の特別措置に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第29号	歴史博物館資料取得基金条例を廃止する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第30号	市立歴史博物館の設置及び管理に関する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	〃 第31号	浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	〃 第32号	食品衛生に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第33号	動物愛護管理員の設置に関する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第34号	児童福祉法に基づく児童福祉施設の設備及び運営の基準等を定める条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第35号	市立城内地区自動車駐車場の設置及び管理に関する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	〃 第36号	公設地方卸売市場業務条例の一部改正	〃	○	退席	○	○	○	○	○	○	経済環境企業
	〃 第37号	一般廃棄物処理施設整備等基金条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第38号	地方公営企業法第33条第2項の規定により予算で定めなければならない資産の取得及び処分等に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第39号	市立消費生活センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
	〃 第40号	建築物等関係事務手数料条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	〃 第41号	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
〃 第42号	指定管理者選定委員会条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災	
予算	議案 第1号	2年度一般会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	予算特別
	〃 第2号	2年度国民健康保険事業費予算	〃	○	○	○	×	○	○	○	○	〃
	〃 第3号	2年度地方卸売市場事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第4号	2年度育英事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第5号	2年度公共用地先行取得事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第6号	2年度公害病認定患者救済事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第7号	2年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第8号	2年度青少年健全育成事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第9号	2年度介護保険事業費予算	〃	○	○	○	×	○	○	○	○	〃
	〃 第10号	2年度後期高齢者医療事業費予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第11号	2年度水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第12号	2年度工業用水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第13号	2年度下水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第14号	2年度モーターボート競走事業会計予算	〃	○	○	○	×	○	○	○	○	〃
	〃 第15号	元年度一般会計補正予算（第5号）	〃	○	○	○	×	○	○	○	○	総務 文教 健康福祉 経済環境企業 建設消防防災
	〃 第16号	元年度国民健康保険事業費補正予算（第2号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 健康福祉
	〃 第17号	元年度介護保険事業費補正予算（第2号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	〃 第18号	元年度後期高齢者医療事業費補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	総務
	〃 第19号	元年度モーターボート競走事業会計補正予算（第2号）	〃	○	○	○	×	○	○	○	○	経済環境企業
〃 第50号	元年度一般会計補正予算（第6号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教 健康福祉	
〃 第51号	元年度一般会計補正予算（第7号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災 委員会付託省略	

区 分			結果	公明党	あまがさきの会	維新の会	議日本共産党	市民グリーン	かけはしの	無所属	付託委員会
				(12)	(8)	(7)	(6)	(4)	(4)	(1)	
その他の案件	議案 第43号	市有地の売払い	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	総務
	〃 第44号	包括外部監査契約の締結	〃	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第45号	権利の放棄（災害援護資金の貸付けを受けた者の連帯保証人に対して有する権利）	〃	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	〃 第46号	指定管理者の指定（市立青少年いこいの家）	〃	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第48号	工事請負契約（武庫東保育所改築工事）	〃	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第49号	市道路線の認定及び廃止	〃	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
人事案件	議案 第52号	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	委員会付託省略
	〃 第53号	公平委員会委員の選任	〃	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第54号	固定資産評価審査委員会委員の選任	〃	○	○	○	○	○	○	○	〃
陳情	元年陳情第10号	近畿中央病院の存続についての陳情	不採択	×	×	×	○	×	×	×	健康福祉

※閉会中の継続審査となった請願は1件、陳情は5件です。  
 ※会派名の下の（ ）は会派ごとの所属議員数です。ただし、採決に加わらない議長（公明党）及び欠席議員（公明党1人・日本共産党議員団1人）を含みます。

**議会の動き**  
 2月1日から  
 3月31日まで

**【2月】**

- 4日▽議員研修会
- 6日▽議会改革検討委員会
- 14日▽会派代表者会
- 20日▽議会運営委員会
- 21日▽議会運営委員会
- 26日▽健康福祉委員会
- 27日▽文教委員会
- 28日▽経済環境企業委員会
- 28日▽総務委員会
- 3日▽議会運営委員会
- 4日▽議会運営委員会

▽本会議

6日▽本会議（代表質疑）

- 9日▽予算特別委員会（分科会）
- 10日▽予算特別委員会（分科会）
- 13日▽議会運営委員会
- 16・17日▽予算特別委員会（総括質疑）
- 19日▽予算特別委員会
- 23日▽議会運営委員会
- 24日▽議会運営委員会

▽本会議  
 ▽議会だより編集委員会

### 議員研修会を開催

2月4日に尼崎市教育委員会事務局顧問の柳本品一氏を講師に招き、「どん底から個人と組織を甦らせる～ここ一番で力を発揮するには～」をテーマに研修会を行いました。低迷していたチームを再建した経験などから人材育成・組織の活性化などについて、お話しいただきました。




人材育成などについて、ご自身の経験を踏まえたお話を伺いました。

### 次回定例会の予定

次回定例会は6月の予定です

詳しくは、議事課までお問い合わせください。

市議会の審議の様子は、市議会ホームページでご覧になれます。



編集後記

桜の季節になり、いつもでしたら、卒業式や入学式など悲喜こもごも入り交じる感情の中、成長していく子供たちの姿をかいま見ること、私たちも懐かしいあの頃を思い出しておりました。

今春は、新型コロナウイルスの影響により、卒業式や入学式の中止や縮小など例年のない状況の中ですが、子供たちの未来に幸多からんことを市議会よりお祈り申し上げます。

（A・M）